

資料館だより



共通教育旧蔵動物剥製標本「チョウザメ」(1905〔明治38〕年)

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／平成29年度アウトリーチ展入場者数
- 3… 雑感／平成29年度入館者数
- 4… 開催案内／資料館入館者数の推移

TOPICS

「新刻日本輿地路程全図」の修復作業が終了

資料館が石川県文化財保存修復協会に委託し同工房で修復を行っていました古地図の修復作業が終了し、3月に同協会から引渡しを受けました。

この事業は、資料館が住友財団の文化財維持・修復事業助成に申請し認められた初めての外部資金による資料館所蔵資料の修復事業です。

今回修復した地図は、江戸時代末期に金沢の町人梅田家が所有していたもので、常盤国の長久保赤水が1779(安永8)年に刊行した「新刻日本輿地路程全図」(赤水図)の第2版であり、有名な伊能忠敬の地図(伊能図・1821年)より30年も前の1791(寛政3)年製です。赤水図は第5版まで作成され、機密扱いされた伊能図とは異なり、一般に流布したものです。

虫損箇所を繕いや本紙の裏打などを行い、きれいに修復された赤水図は、現在、資料館展示室で開催中の「金大資料館コレクション展2018:保存と修復」において展示していますので、ぜひ御覧ください。



新刻日本輿地路程全図

平成29年度の入館者数が、これまでの年間記録を更新

資料館展示室の平成29年度の入館者数が、8,990人を数え、これまでの記録であった平成27年度の年間入館者数を超えました。詳しくは、3ページ及び4ページのグラフを御覧ください。

展示活動報告

学 生
企 画 展

「バンカラ寮生類～金大寮史124年～」開催

会期 平成29年11月29日～平成30年3月16日 会場 資料館展示室



企画した学生から説明を受け、懐かしそうに見学する北溟寮OB
 を感じることができた展覧会となりました。全国から北溟寮OBも見学を訪れ、昔話に花を咲かせる光景も見られました。

恒例となった博物館実習を受講する学生が企画する展覧会が、「バンカラ寮生類～金大寮史124年～」と題して開催されました。

学芸員の資格取得を目指す学生が、これまでの講義と館実習によって得た知識と経験を生かして発表する場として既に定着した感がありますが、実際に行う学生にとっては初めての経験です。平成28年度末で閉寮となった北溟寮に残された物品を収集することから始め、これに資料館が収蔵する資料を加えて展示し、旧制第四高等学校の寮からつながる伝

ア ウ ト
リ ー チ 展

「お雇い外国人と石川の近代教育 ～ランバート、ホイットニー、ウインの仕事～」開催

会期 平成30年1月19日～平成30年2月18日 会場 石川四高記念文化交流館

資料館が取り組んでいる地域の文化施設との連携事業として、石川四高記念文化交流館を会場に北陸学院ウイン館及び石川県立自然史資料館との共催による展覧会を開催しました。開催期間中には記録的な大雪となり、あまり良い条件ではありませんでしたが、地域の方々にも明治初期の近代教育において、お雇い外国人が果たした役割と公教育と私教育の黎明期を紹介することができました。



平成29年度アウトリーチ展入場者数

資料館では、上述の石川四高記念文化交流館での展覧会のほかに、金沢城公園内の河北門でも写真展を昨年度に開催しました。これらの各会場における入場者数は、次のとおりです。

展覧会名	会 場	開催期日	開催日数	入場者数
金沢大学資料館写真展 「よみがえる城内キャンパス」	金沢城内河北門	平成29年10月20日 ～11月2日	14日	9,447人
金沢大学資料館・北陸学院ウイン館・石川県立自然史資料館連携企画展 「お雇い外国人と石川の近代教育 ～ランバート、ホイットニー、ウインの仕事～」	石川四高記念文化交流館 多目的利用室1	平成30年1月19日 ～2月18日	31日	3,041人
合 計			45日	12,488人

企画展を通して感じたこと ～教育普及活動について～

〔ミュージアムツアー〕

教育普及活動でミュージアムツアーを実施するにあたり、私たちは「どうしたら多くの方に来てもらえるような活動ができるか」を考え、対象別に2種類のミュージアムツアーを用意しました。

1つ目は、資料館初心者をターゲットにした“メタモル寮生ツアー”です。簡単な展示説明に加え、寮生のコスプレをして写真撮影を行ったり、インスタグラムの枠を用意したりすることで、資料館や寮生に親しんでもらうことを目標にしました。

2つ目は、展示を深く知りたい人向けの“ミーツ寮生ツアー”です。「一般的なミュージアムツアーでは面白くない!」との思いから、説明は展示に登場するキャラクター(に扮した実習生)が行いました。2つのミュージアムツアーをそれぞれ3回ずつ計6回行い、学生・教員をはじめ寮生OBの方にも参加していただき、貴重なお話を伺うことができました。“メタモル寮生ツアー”では、多くの方に寮生になりきってもらうことができ、笑顔の絶えない活動になり、“ミーツ寮生ツアー”では、質問をする来館者の方が多く、相互的な活動とすることができました。それぞれのツアーの特徴を生かした活動を行うことができ、実習生・来館者共に実のあるミュージアムツアーを実施できました。

人間社会環境研究科人文学専攻1年 鈴木 彩可(開催時：人間社会学域人文学類4年)

かいだんえ
〔怪談会〕

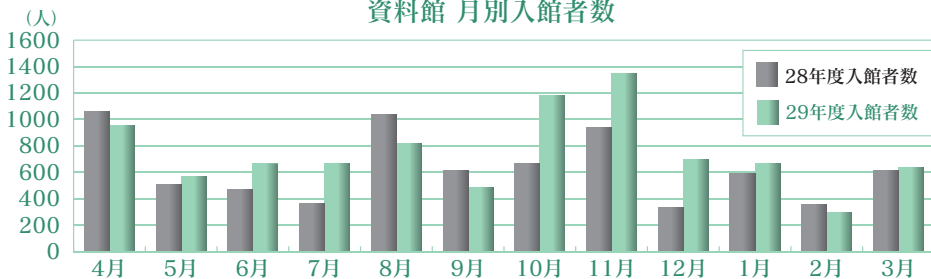
金沢大学で取り組むことのできる博物館実習では、資料館での学生企画展の製作だけでなく、関連した教育普及活動の機会も与えられていました。展示資料を解説するミュージアムツアーとは別に、体験型の教育普及イベントとして、時習寮で行われていた「怪談会」の再現に挑戦することにしました。怪談会とは、入寮3日目の夜に新入寮生が講堂に集められ、先輩寮生の口から寮に伝わる怪談話が語られるという、時習寮の通過儀礼的イベントです。中央図書館に所蔵されている文書資料をもとに、参加者が理解しやすいよう修正を加えたり、用語解説を含んだ「入寮のしおり」を製作したりしました。語り部である2名の先輩寮生役は資料館の収蔵資料である外套や学生帽を着用し、かつての四高生になりきりました。加えて音響や照明、進行も実習生自ら行いました。当日、学生や職員の方に混じって、お年を召した男性の姿がありました。お二人はかつての寮生で、怪談会の終了後にはご歓談されながら共に展示を鑑賞される姿を見て非常に嬉しくなりました。もちろん時習寮を知らない現在の学生にとっても当時の学生の様子を垣間見ることができ、実習生として貴重な経験になったと感じました。



人間社会環境研究科国際学専攻1年 室谷 颯花(開催時：人間社会学域国際学類4年)

平成29年度入館者数

資料館 月別入館者数



入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成28年度	1,060	510	470	362	1,040	614	663	941	335	592	359	612	7,558
平成29年度	958	570	667	667	818	488	1,182	1,345	697	667	293	638	8,990

開催案内

企画展

「金大資料館コレクション展2018：保存と修復」

会期 平成30年3月28日～平成30年7月4日 会場 資料館展示室

これまで過去3年間の春季企画展は、「金大資料館コレクション展」として、主に新入生に向けて、資料館のコレクション(館蔵資料)を紹介してきました。

今年の「金大資料館コレクション展」は、副題に「保存と修復」と題して、文字どおり資料の保存と修復を紹介する展覧会です。

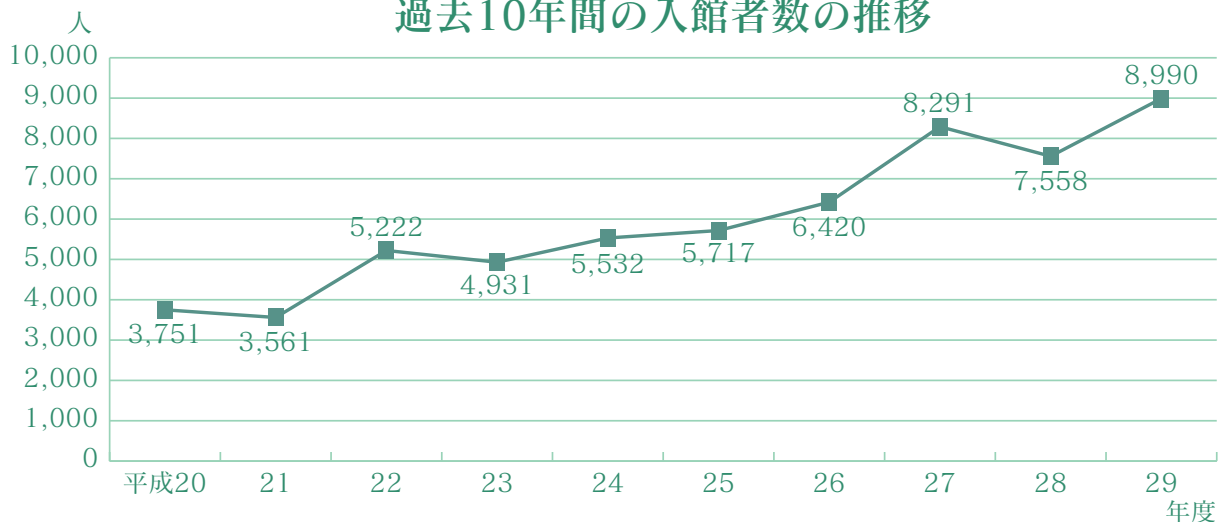
今回の企画展では、実際に使用されている保存・修復道具と、それに関係する資料を展示し、展示室という表舞台で、普段は目に触れることのない「保存と修復」という博物館のバックヤードの仕事について紹介しています。

考古資料では、発掘した遺物の記録保存の仕方や接合・復元方法を解説しています。また、紙資料については、当館収蔵で昨年修復が成った「成医学学校蔵版人体局所解剖図」等を展示し、これらの修復を行った石川県文化財保存修復工房における修復過程を紹介しています。生物標本では、ホルマリン標本、剥製標本、乾燥標本、そしてまるで生きているかのようなプラスティネーション標本等その製作方法の解説と共に展示しています。ぜひ、資料館展示室へお越しください。



資料館入館者数の推移

過去10年間の入館者数の推移



編集後記

新任の菊間と申します。資料館業務は初めてですが、これまで目にしたことのないような貴重な資料にかかわることができ、とても嬉しく、やりがいを感じております。

今後、より知識を深め、皆様のお手伝いができるよう、日々努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

(菊間綾花)

金沢大学資料館だより

第56号 平成30年5月16日発行



[発行/編集] 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町

TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050

Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>